

静岡市立清水入江小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

平成29年5月18（木）



発掘調査について

5月18日（木）、静岡市立清水入江小学校6年生の皆さんを対象に「土器分類」「石器試し切り」「火起こし」と「発掘調査について」の解説の出前授業を行いました。どの体験も、初めての体験で、みんな目を輝かせて、真剣に取り組んでいました。

この授業を通して昔の人々の暮らしの一端に触れ、古代の人々の生活や歴史に興味関心をもつことができたのではないのでしょうか。この体験が今後の学習に活かされることを期待しています。

土器の分類体験



石器（黒曜石）試し切り体験



黒曜石の石器を使って、紙や野菜を切る体験をしました。とても、よく切れたことに驚いていました。また、古代の人々は鋭く尖る石（黒曜石：自然のガラス）を探して、遠く長野県や海を越えて伊豆諸島（神津島）まで出かけて行き手に入れていたことを知って、さらに驚きました。

縄文土器、弥生土器、須恵器（すえき）の3つの時代の土器についての説明を受け、実物の土器片をみんなで分類してみました。それぞれの時代の土器の特徴や違いを見つけて分類に挑戦しました。さて、正しく分類することができたでしょうか？

火起こし体験



実際に挑戦してみると、火起こしは大変でした。最初は、なかなか火が付きませんでした。みんなで協力し、コツを覚え、次々と火を起すことができました。煙が目にしみてつらかったけれど、昔の人々の工夫もいろいろと感ずることができました。